

 シリーズ「きょうだいの思い」⑮

学生時代②

2週間の施設実習の間に一時帰宅した私は、物心ついた頃から描いていた「障害者と関わる仕事」を選ぶことに戸惑いを感じていた。

施設実習の中で、入所者の方々と触れ合うと同様に、職員の方々の姿を見た。

当たり前だが、職員の方は出勤して退勤していく『時間』で区切られた『仕事』なのだ。

一時帰宅した私には、仕事と家の区切りがない気がした。

私の手のひらの中には、いつも『自閉症の弟』がくっついている。

振り払っても振り払っても離れることのない『弟』がくっついている私に比べて、職員の方々は、手のひらを広げたら簡単に手放せる『仕事』なのだろうと感じた。

自分が障害者と関わる仕事に就いて、この違和感に慣れていくのだろうか…私がこの仕事に就くことは、身内に弟がいることを打ち明けやすく、ある意味で温室かも知れない…でも『仕事』と一線を引ける器用さと、自分の感情を上手にコントロール出来る自信が持てなかった。

『きょうだい』である自分の生き立ちで、それまでに経験してきた周囲との違いや孤独さを『福祉の仕事』の中で感じるのは、耐えられないような気がした。

つづく

まえほ  
つうしん  
前穂通信

発行日	2012年9月1日
発行元	自立センター前穂 〒569-1022 高槻市日吉台 1番町21-18 072-689-8600



 ケアホーム立ち上げを目標とするNPO法人「いぶき」開設準備室から

■前号でご案内いたしました「いぶき」の会員希望の方が、お陰様で10名を超えました。  
 ※NPO法人の設立には10名以上の会員(正式には「社員」と呼称されます)が必要です。  
 設立趣旨書・定款・事業計画書なども最終推ここの段階に入っております。これらの書式を整え、9月中には第一回総会を開催し、その上で、府に対し認証申請を致します。  
 ※平成25年1月～2月には、法人格を取得したく考えております。  
 ■先の8月21日(火)には、高槻市障害福祉課及び、福祉指導課との相談も実施致しました。

 BBQプログラム

8月8日(水)毎年恒例のバーベキュープログラムを行いました。沢山のゲストをはじめ、ゲストの家族の方々にも参加して頂き、盛大な催しとなりました。お肉や、焼きそば、スイカをたくさん食べ、最後には綺麗な花火を行い、スタッフ一同も楽しい夏の思い出となりました。

